

神学校献金(神学生奨学金献金) 振替00150-7-669605 日本バプテスト連盟全国壮年会連合事務局

「収穫は本当に多いのです」

九州バプテスト神学校理事長 踊 一郎

「収穫は多いが、働き手が少ない」(マタイ 9・37)。礼拝に集う人々の少なさを見て、しばしば「収穫は多くない」という言葉が漏れてきます。もしイエスが今この時代におられたら何と言われるでしょうか。「昔は多かったが、今は少ないね」。決してそうは言われません。主は現代人の心の深みをじっとご覧になって、「今も救いを求める人は多い。いや、もっと切実に求めている！」と言われるのではないのでしょうか。

私たちに見えないものが主の目にははっきりと見えているのです。信頼すべきは主の現状分析であり、従うべきは主のご指示です。去る9月17日(月・祝)、九州バプテスト神学校創立30周年記念式典を行いました。当日は同窓生、在校生、教職員、そして後援会、多くの仲間たちが集いました。私たちは30年の歩みを導いてくださった主を賛美し、働き人を育てる貴い務めに感謝し、これからも新たな思いで主の委託に応える決意をしました。

「沖に漕ぎ出して網を降ろし、漁をしなさい」と主から言われた時、ペトロは「わたしたちは、夜通し苦労しましたが、何もとれませんでした。しかし、お言葉ですから、網を降ろしてみましよう」(ルカ5・1~11)と答えました。すると驚くほど多くの魚が獲れたのです。

西南学院大学神学部、東京バプテスト神学校、九州バプテスト神学校、これからも共に祈り助け合いつつ主の業に励みたいと願っています。

他の箇所にも似た記事があります。ペトロたちは漁に出かけますが、何も獲れませんでした。そんな彼らに岸边から復活の主が声をかけられます。「舟の右側に網を打ちなさい。そうすれば何かとれるはずだ」。主の言葉に従うと、舟が沈みそうになるほど魚が獲れたのです(ヨハネ21：1~14)。



2018年度全国壮年会連合総会【審議報告】 開催日：2018年8月18日(土)

| No | 議 案 | 結果 | No | 議 案 | 結果 |
|----|---|----|-----|--|----|
| 1 | 2018-19年度全国壮年会連合監査選出に関する件 | 承認 | 4 | 2018-2019年度全国壮年会連合活動計画案の件 | 承認 |
| 2 | 2017年度活動報告・決算・監査報告関係議案 *以下の各議案は6月の「代表者会議」において審議されて承認されており、総会では一括承認を求めるものです ・2017年度全国壮年会連合活動報告 資料：2017年度神学校献金・会費実績一覧 ・2017年度全国壮年会連合奨学金委員会活動報告 ・2017年度監査報告(業務監査) ・2017年度一般会計決算報告 ・2017年度奨学金会計決算報告 資料：2017年度神学生奨学金会計決算報告書 ・2017年度監査報告(会計監査) | 承認 | 5 | 2018-2019年度全国壮年会連合奨学金委員会活動計画案の件 | 承認 |
| | | | 6-1 | 2018年度全国壮年会連合一般会計修正予算案及び2019年度全国壮年会連合一般会計予算案の件 | 承認 |
| 3 | 2019年度神学校献金(神学生奨学金献金)目標額設定の件 | 承認 | 6-2 | 2018年度全国壮年会連合奨学金会計修正予算案及び2019年度全国壮年会連合奨学金会計予算案の件 | 承認 |
| | | | 7 | 2019-2020年度全国壮年会連合奨学金委員長選挙に関する件 | 承認 |
| | | | 8 | 第55回(2020年度)全国壮年大会担当連合の件 | 承認 |
| | | | 9 | 2019年度 総会議長の件 | 承認 |

「祈られ、支えられ、送り出されている献身」

西南学院大学神学部4年 小櫻 信



全国壮年会連合の皆様、いつも私たち神学生の事を覚え、尊いお祈りと奨学金（1種・2種）を感謝いたします。皆様のお支えによって私たちの生活が守られている事を心から感謝いたします。

私は日本バプテスト大阪教会へ2007年に転入をしてから、毎年、何らかの役割が与えられ奉仕をさせていただきました。また、2009年からは教会に雇っていただき生活が守られてきました。大阪教会に育てられ献身に至るまでの9年間、多くの人との出会い、深い交わりが与えられてきました。その中で、「牧師になってほしい」という声を沢山の方が掛けてくださいました。その時は、「牧師にはならない」と断り続けていたことを憶えています。その声を掛けてくださった殆どの方が既に天に召されてしまいましたが、私に掛けられるこの声は神様が姿を変えて語りかけておられたのだ、と確信をしています。

神学校の学びは、授業での学びだけではなく、生活そのものが学びの題材となっています。今までの自分だったら関わらなかった事柄に関わりを持ってみたり、違和感を感じる場所に身を置いてみると、今まで見えていなかった物が見えるようになっていきます。聞き漏らしていた声に気づくこともあります。このような学びの時が与えられている事を感謝いたします。

私の献身は、決して私だけの献身ではなく沢山の人に祈られ、支えられ、送り出されている献身なのだ痛感しています。人は一人では生きていきません。助けを必要としている人の声に、異変に気づき、寄り添って共に歩いていくことが出来たら幸いです。

『喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい。互いに思いを一つにし、高ぶらず、身分の低い人々と交わりなさい。自分を賢い者とうぬぼれてはなりません。』

(ローマ12：15-16)

「2018年度第53回全国壮年大会総会で与えられた来年度に向けた課題」

事務局長 豊永義典

第53回全国壮年大会から3週間後の9月8日に、本年度第2回目の役員会を開催し、壮年大会の総会のフォローアップを中心に話し合いました。4件の大きなポイントがあります。

(1) 今回報告関連議案については、昨年の総会での承認に基づいて、審議の進め方と承認について大きな変更を行ないました。大会前に関連する議案を全国に送付し、各教会・伝道所から意見や質問を頂き、それを「代表者会議」に議案とともに提出して審議を行ない、その審議結果を総会に報告して、報告関連議案を一括で審議・採決するというものです。変更の初年度ということもあって、全国に送付した議案書が1部ずつしかなかったことや年度初めから壮年大会までの会議のタイミングの設定が必ずしも適正なものにはなっていなかったこと等の反省すべき点があるので、次年度は調整して提案します。

(2) 壮年会連合の活動計画の中では、一般会計の年度収支が約28万円赤字の案であることから、対応策の検討を開始することを伝え、会費の値上げも選択肢の一つとしましたが、まずは経費節減と会費納入率アップに取り組み、次年度の提案をどのようにまとめるか検討を進めていきます。

(3) 奨学金委員会の活動計画の中では、「奨学金制度の充実」を目指して2019年度総会での規約改正に向けた取り組みを提案しました。奨学金給貸と期間の延長や返済負担の軽減を図るべく検討が、奨学金委員会を中心に続けられており、本年度後半には提案内容が整理され、連盟理事会等の関連機関とのすり合わせも行ってまとめられる予定です。

(4) 議場から提案のあった「中長期の壮年会のあり方」の検討をどう進めるか考えていきます。

日本バプテスト連盟全国壮年会連合

〒336-0017 さいたま市南区南浦和1-2-4

事務局執務：月、水、金 10:00~16:00 ☎・fax:048-886-7533 <http://www.sonen.net> sonen@bapren.jp